

成果を上げるための夏期講習の受け方

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

高校野球が盛んに行われています。選手の皆様には頑張っていたきたいと思います。

2. ところで、学習塾や予備校などでは、これから先夏期講習が行われます。また、学校でも熱心なところは普通の授業の他に補習などをしてください。そこで、夏休みにする勉強、つまり夏期講習の受け方についてお話をさせていただきます。

3. 一番大事なことは、自覚を持って夏期講習を受けることです。暑い時期に学習塾や予備校、学校に行つて先生方からいろいろなことを教えていただくのですから、自覚を持って勉強したほうがよいと思います。

ではどのような自覚かと言いますと、受験生の皆様は来年の春にこのような高校・大学・私立中学校・中高一貫の公立学校に行きたいという受験生としての自覚を持つことです。受験生でない方の中にも、あと1・2年後にこんな高校・大学・私立中学校・中高一貫の公立学校に行きたいと考えている方もいらっしゃると思います。その方々は、ミニ受験生としての自覚を持って勉強することが大事であると思います。是非自覚を持って勉強してください。

4. また、講習会には必ずテキストがあります。つまり、教材ですね。それが予め配られます。配られない場合にも、この講習会では初日にこのようなことをやりますということが示されたプリントのようなものが必ず渡されます。渡されたテキストやプリントは十分に予習したほうがよいと思います。予習しないで授業に出て、そこで初めて先生の話聞いても力はずつと弱く、配られたテキストを十分に予習してから授業に臨んだほうがより多くの力がつくと私は思います。テキストを一行一行読み込んで、夏期講習ではどのような内容が行われるのかを理解することが大事であると思います。

5. テキストを読んでいて意味のわからない言葉が出てきたら、国語辞典や漢和辞典、英和辞典、和英辞典などの辞書を使って調べる。辞書で調べた言葉の意味はノートやカードに書き写し、繰り返し繰り返し学習してすべて覚えることが大事です。「言葉は力」ですから、言葉の数が多ければ多いほどそこに書いてあることがわかるわけですね。特に日本語には漢字という難しめのものがありますので、その意味なども調べていくと言葉の数が多くなり、他の文章を読むときに役に立ちます。ですから、必ず辞書を用いてわからない言葉や漢字の意味を調べてください。

6. テキストには計算や問題がたくさん出ていますので、それらを必ずノートに解いてみることも大事です。テキストに書き込む方もいますが、そうすると2回目はなかなか勉強しませんね。成績のよい方の多くは、ノートに問題と答え・途中の式などを書き込んでいます。ですから、テキストに直接書き込まずに、ノートを使って勉強することをお勧めします。わからない計算や問題があったら、授業の前にわかるまで徹底的に調べることも大事です。これらが予習ですよ。
7. 予習は何のためにするのかと言いますと、よくわからないところをはっきりさせてから授業に臨むためというのが私の考えです。予習をして、わからないところをはっきりさせてから塾や予備校、学校の授業に臨むと、学習内容が非常によくわかります。予習しないとその場で初めて聞くことになりますから、十分に理解することはなかなか難しいです。それに対し、予習をし尽くしてわからないところをはっきりさせておくと先生のお話が非常によくわかりますので、成績が驚くほど上がります。
8. 次は、授業中の心構えをお話します。先生方が一所懸命に授業をしてくださっても、欠席・遅刻・早退をして教室にいなかったり、そこにいてもおしゃべりや居眠りをしたりしていると、なかなか理解が進みません。ですから、できるだけそのようなことはしないように心掛けていただきたいと思います。また、必要なことはノートに取ったほうがいいですね。ノートを取らずにじっと腕を組んで聞いている方もいますが、その時はわかって、あとになると、全部とは言わないまでも忘れることが多いです。ですから、必要なことはどんどんノートに取るようにしていただきたいと思います。
9. 授業が終わったあとにやったほうがよいことは、授業のノートを読みやすいように整理する、ノート整理です。ノートは1回書いておしまいではなく、繰り返し繰り返し学び直しをするために取るのですから、あとで見やすいように授業直後に整理していただければと思います。
10. それから、その日に授業で学んだ内容をもう一度スミからスミまで学び直すことも大事です。ノートも見直し、計算や問題ももう一回やってみる。そして、なぜそのような答えになるのかがよくわからなかった計算や問題は、授業中のノートや解答・解説などを見て十分に理解してください。それでもわからなかった場合は、塾の先生や予備校の先生、学校の先生にその日か、次の日に必ず聞いてください。わからないままにしないことが非常に大事です。
11. また、テキストの量がたくさんあって授業では全部終わらない場合があります。そのときは、授業中に先生に教えていただかなかった内容や計算、問題を自分の力でやってみてください。解答や解説を見て答え合わせをし、そして勉強する。なぜそのような答えになるのかがよくわからない計算や問題は、先ほどお話ししたように、その日か翌日に先生方によく質問するとよいと思います。できれば音読練習や書き取り練習をしながらその日にやったことをスミからスミまで勉強し直す。これらのことをやっただけならば、とてもとても素晴らしい夏休みの勉強になると思います。とにかく勉強時間を長くすると、よい点数が取れます。8月24日に、栃木県・群馬県・茨城県ではそれぞれ下野新聞模擬テスト・茨城統一テスト・群馬県統一テストが行われます。高校入試を目指す方、特に県立高校を目指す方は、8月24日が自分たちにとって大切な日だということを理解して1か月間頑張っただけければと思います。